

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川浩司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,602	113.0	243	—	247	—	132	—
23年3月期第3四半期	2,160	17.6	△90	—	△84	—	△53	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2,426.42	—
23年3月期第3四半期	△985.89	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,332	2,948	55.3
23年3月期	5,495	2,886	52.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,948百万円 23年3月期 2,886百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	800.00	800.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,485	9.9	173	106.0	177	88.2	101	117.0	1,870.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	55,000 株	23年3月期	55,000 株
24年3月期3Q	511 株	23年3月期	511 株
24年3月期3Q	54,489 株	23年3月期3Q	54,489 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
5. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災や原子力発電所の事故等の影響により不安定な状態となっておりましたが、サプライチェーンの急速な回復や個人消費の持ち直し等により活発化し、緩やかながらも回復する兆しがありました。しかしながら、一部のEU加盟国による財政問題を背景とした円高の長期化や新興国の成長鈍化等、世界的な経済不安が相俟って、景気の先行きとしては依然として厳しく、不透明な状況が続いております。

当社は、このような状況のもと、主力製品である「アルファフレームシステム」の拡販ツールとして自社開発した世界初の3次元自動設計システム「カクチャ™」や、作業時間を大幅に削減可能とする組立省力化システム「マーキングシステム™」を活用し、新規顧客開拓を中心とした売上高の確保に向け、継続的な営業活動を行いました。

また、長引く円高を背景に輸出関連の製造業の多くは、海外拠点での生産強化を図っておりますが、より一層コスト競争力を高めるために効率的な生産ラインの構築が求められております。このように多様化するお客様のニーズに対し、当社の技術力を活かした迅速かつ質の高い自動化・省力化装置を提案する積極的な営業活動も展開いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、4,602百万円（前年同期比113.0%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は243百万円（前年同期は90百万円の営業損失）、経常利益は247百万円（前年同期は84百万円の経常損失）、四半期純利益は132百万円（前年同期は53百万円の四半期純損失）となりました。

当第3四半期累計期間における各セグメントの状況は、次のとおりであります。

#### [アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、引き続き「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」による設計・組立工数削減の提案活動に注力すると共に、当社の技術力を活かした全体最適化も積極的に提案し、付加価値を高めた製品による顧客の囲い込み・安定化を図ってきました。主要なおお客様の業界である半導体、フラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）、電機、自動車、機械の中で、半導体関係においては在庫調整等による落ち込みがございましたが、FPD関係ではスマートフォンやタブレットPCの好調に支えられ、需要が上向き傾向となりました。また、自動車及び機械関係も好調であったことから、売上高は堅調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は961百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

#### [装置部門]

装置部門におきましては、自動車部品製造企業等から海外向け大型機械設備や洗浄装置を受注するなどにより、売上は順調に推移いたしました。また、工作機械業界の復調に伴い、工作機械に組み込まれる計画生産品の受注も第2四半期会計期間に引続き順調に推移しました。なお、FPD関連大型クリーンブースの受注は減少したものの、前述のプラス要素がこれを上回り、当第3四半期累計期間における売上高は前年同期と比べ大幅に伸ばいたしました。

この結果、当部門の売上高は2,898百万円（前年同期比333.3%増）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、機械部品製造業界が好調なことより、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の受注が当第3四半期会計期間で増加傾向となりました。また、機械部品製造企業より主に海外向け生産機械設備の受注を確保したこともあり、売上高は伸長いたしました。

この結果、当部門の売上高は741百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ163百万円減少し5,332百万円となりました。これは主に、大型機械設備投資案件に係る売上債権の回収が進んだことにより、現金及び預金が1,502百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,661百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ225百万円減少し2,383百万円となりました。これは主に、装置案件の仕入債務の支払いが進んだことにより、支払手形及び買掛金が403百万円減少した一方で、未払法人税等が84百万円、未払消費税等が55百万円、それぞれ増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ61百万円増加し2,948百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により、利益剰余金が88百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が26百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ932百万円増加し、1,216百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の201百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は1,580百万円のキャッシュ・インとなりました。これは、仕入債務の増減による資金の減少額771百万円や、法人税等の還付額の減少による資金の減少額45百万円などの資金の減少があった一方で、税引前四半期純利益の計上による資金の増加額332百万円や、売上債権の増減による資金の増加額2,011百万円並びに棚卸資産の増減による資金の増加額190百万円などの資金の増加があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の50百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は604百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは定期預金の預入による支出が566百万円増加したことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の37百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は43百万円のキャッシュ・アウトとなり、いずれも配当金の支払いによるキャッシュ・アウトのみとなっております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

##### イ. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ロ. 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	288,885	1,790,897
受取手形及び売掛金	2,941,176	1,279,775
商品及び製品	134,704	129,544
仕掛品	141,208	181,592
原材料及び貯蔵品	229,950	241,497
その他	71,702	50,711
貸倒引当金	△266	△109
流動資産合計	3,807,360	3,673,908
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,442,449	1,442,449
減価償却累計額	△847,052	△873,569
建物(純額)	595,396	568,879
土地	456,904	456,904
その他	589,782	605,839
減価償却累計額	△437,404	△442,111
その他(純額)	152,378	163,727
有形固定資産合計	1,204,680	1,189,512
無形固定資産	24,592	18,186
投資その他の資産		
その他	460,208	452,161
貸倒引当金	△1,500	△1,550
投資その他の資産合計	458,708	450,611
固定資産合計	1,687,980	1,658,310
資産合計	5,495,341	5,332,218
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,313,690	1,909,736
未払法人税等	9,201	93,843
製品保証引当金	5,281	23,578
賞与引当金	39,299	20,724
その他	83,677	147,966
流動負債合計	2,451,151	2,195,848
固定負債		
退職給付引当金	122,357	130,387
その他	35,463	57,685
固定負債合計	157,821	188,072
負債合計	2,608,972	2,383,921

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,560,960	2,649,582
自己株式	△34,410	△34,410
株主資本合計	2,828,749	2,917,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	57,618	30,925
評価・換算差額等合計	57,618	30,925
純資産合計	2,886,368	2,948,297
負債純資産合計	5,495,341	5,332,218



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,160,309	4,602,188
売上原価	1,652,180	3,715,971
売上総利益	508,129	886,217
販売費及び一般管理費	599,045	642,268
営業利益又は営業損失(△)	△90,916	243,948
営業外収益		
仕入割引	2,656	1,640
未払配当金除斥益	—	842
還付加算金	1,389	60
助成金収入	2,021	—
その他	791	1,084
営業外収益合計	6,858	3,627
営業外費用		
手形売却損	—	143
その他	—	38
営業外費用合計	—	182
経常利益又は経常損失(△)	△84,057	247,393
特別利益		
受取保険金	—	4,387
特別利益合計	—	4,387
特別損失		
固定資産除却損	361	4,402
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	596	—
特別損失合計	958	4,402
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△85,015	247,377
法人税、住民税及び事業税	1,994	95,350
法人税等調整額	△33,289	19,813
法人税等合計	△31,295	115,164
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△53,720	132,213

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△85,015	247,377
減価償却費	63,903	63,639
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	125	△107
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,573	△18,575
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,521	8,029
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△314	18,297
受取利息及び受取配当金	△192	△295
手形売却損	—	143
固定資産除却損	361	4,402
売上債権の増減額 (△は増加)	△349,389	1,661,785
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△237,157	△46,770
仕入債務の増減額 (△は減少)	367,749	△403,954
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,347	62,224
その他	△4,282	△4,405
小計	△246,914	1,591,791
利息及び配当金の受取額	144	162
手形売却に伴う支払額	—	△143
法人税等の支払額	△962	△11,731
法人税等の還付額	45,803	1
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△201,928</b>	<b>1,580,079</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,000	△570,000
有形固定資産の取得による支出	△25,973	△10,517
無形固定資産の取得による支出	—	△3,311
投資有価証券の取得による支出	△3,600	△3,600
保険積立金の積立による支出	△17,263	△17,263
その他	△71	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△50,907</b>	<b>△604,691</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△37,909	△43,365
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△37,909</b>	<b>△43,365</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△290,745	932,012
現金及び現金同等物の期首残高	573,586	284,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	282,840	1,216,897

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	971,591	104.6
装置部門	2,898,738	433.3
合計	3,870,330	242.3

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ② 商品仕入実績

当第3四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高 (千円)	前年同四半期比 (%)
商事部門	工業用砥石	134,588	113.5
	機械設備	142,020	646.1
	工具・ツール・油脂類	355,575	101.3
合計		632,183	128.6

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	987,089	105.2	56,656	161.6
装置部門	2,692,260	241.1	630,189	105.8
商事部門	890,427	111.6	264,168	102.7
合計	4,569,777	160.2	951,014	107.1

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ④ 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	961,703	104.6
装置部門	2,898,738	433.3
商事部門	741,746	129.6
合計	4,602,188	213.0

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第3四半期累計期間		
	販売高 (千円)	割合 (%)	前年同四半期比 (%)
株式会社ホンダトレーディング	2,055,332	44.7	163,121.6

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。